

第42回ディスプレイ産業賞(2023)応募要項

当連合会は、ディスプレイを通じて生活文化の向上および国土景観の発揚に寄与することを目的として活動しています。ここにディスプレイ優秀作品を賞揚し、その成果を公表して、ディスプレイ産業振興と社会認知の向上を目指します。
主催：一般社団法人日本ディスプレイ業団体連合会(略称NDF) 後援：経済産業省 日本経済新聞社

募集開始 2023年7月3日(月) 募集締切 7月13日(木)午前必着

※郵送、宅配便等のご応募を御願ひ致します。持ち込み一切不可。

※応募作品は、原則として返却いたしません。

※締切日は消印日付ではありませんのでご注意ください。※締切後の応募は無効とさせていただきますのでご了承下さい。

賞の種類

ディスプレイ産業振興の見地から審査員の合議により次の各賞を選び、入賞作品のクライアントおよびプロダクション(企画設計・製作施工等)に対して賞を贈ります。

- ・ディスプレイ産業大賞 (経済産業大臣賞)……1点
- ・ディスプレイ産業特別賞(日本経済新聞社賞)……1点
- ・ディスプレイ産業優秀賞(経済産業省大臣官房商務・サービス審議官賞)……6点
- ・ディスプレイ産業奨励賞(日本ディスプレイ業団体連合会賞)……15点前後

作品応募部門

- 1.文化・公共施設部門：博物館、美術館、科学館、資料館、ホール、学校、公共施設、公園等
- 2.余暇・観光施設部門：ホテル、旅館、リゾート施設、ステーション(駅・空港)空間、交通・観光情報、遊園地、テーマパーク
プライダル施設等
- 3.商業・複合施設部門：物販店、専門店、飲食店、百貨店、量販店、ショッピングセンター、チェーン店、環境サイン等
- 4.博覧会・展示・イベント演出部門：博覧会、展示会、見本市、コンベンション・エキジビジョン等
- 5.プロモーション・演出部門：スポーツ・音楽・演劇・興行等。ショーウィンドウ、インスタディスプレイ、フロアディスプレイ、
広告ディスプレイ、サイネージ・イルミネーション、インスタレーション、モニュメント、オブジェ、
グリーンディスプレイ、ストリートディスプレイ、パレード、広告POP、プロジェクションマッピング、
グラフィックディスプレイ等
- 6.ワークプレイス部門：ショールーム、医療施設、福祉施設、オフィス環境等

審査対象2022年5月1日～2023年4月30日までに開催または竣工、開業している作品、プロジェクト等。

審査料 1作品15,000円 動画(30秒以内)付の場合は20,000円

審査項目

(デザイン重視ではなく、産業賞という名前にふさわしい各地域に密接し地域活性化や経済活動に貢献したものの、話題性や新しい技術に優れたもの等下記の項目を重視した選考をさせていただきます。)

- ①社会性： 地域貢献、省エネ、ユニバーサル、少子高齢化、沈滞商業活性、雇用創出など、地域社会の課題解決を目的としたプロジェクト。環境配慮や社会生活に寄与する、継続的活動や持続可能なプロジェクト。
- ②新しい技術： 新しい技術が使われていること。新産業や地域活性化に寄与する、斬新なアイデアや優れたクリエイティビティ革新的な表現技術やコミュニケーションシステムの登用。
- ③話題性： 産業・社会・文化の発展に先導的な役割を果たし、波及効果が大きく期待できる活動やプロジェクト。
- ④経済効果： 経済効果に貢献していること。集客力、国内外への情報発信力など。
- ⑤景観： 景観を重視していること。良質な街並み形成や都市景観、また周辺環境との調和や上質化に顕著なプロジェクト。
- ⑥地域活性： 地域の活性化に強く影響を与えたプロジェクト。

応募方法

下記応募送付物①から④を当連合会事務局へ送付してください。

②から④は7月3日より当連合会HPよりダウンロードして下さい。

①作品ボード(写真)(必須) 写真上の文字、図面、スケッチ等の記載一切不可と致します。

・A3イラストボード(厚さ3mm前後)で1作品3枚以内。(4枚以上無効)

②応募資料票(必須)：作品/プロジェクト(制作、施工、企画、設計等の会社名)の詳細を記入する

- ・応募資料票は重要な情報となりますので、漏れなく入力(記入)し、作品ボードに同封して下さい。 作品ボードに貼付は不可。
- ・応募資料票に記載された作品名、クライアント、プロダクション名(制作、施工、企画、設計等の会社名)、撮影者等、記載項目の応募締切後の変更、追記、訂正、削除は一切不可となりますのでご了承下さい。
- ・いかなる場合においても応募資料票そのまま年鑑並びにHP掲載とさせていただきます。(記載順番含む)
- ・応募社もプロダクション欄に必ず記入してください。記入もれの後日追記は致しかねます。
- ・応募責任者と、当連合会事務局から連絡をする際の担当者が違う場合はその旨を資料票に記載して下さい。

③コンセプト記入票(必須)

・「審査項目一覧」を参照し、注力した要件3件以上を選び、それぞれについて約200文字記入して下さい。

・作品ボードに同封して下さい。作品ボードに貼付は不可。動画応募の場合はQRコードを付記して下さい。

動画は31秒以上は無効となりますのでご注意ください。

④ボードカード(作品枚数詳細)(必須)

・作品名、部門、作品ボードの枚数と順番を記入し、作品ボード裏面の右上に剥がれないように貼って下さい。

・作品ボードの数だけ必要となりますのでご注意ください。

1作品1枚ではなく、全ての作品ボードそれぞれの裏に1枚ずつ貼って下さい。

※尚、作品ボードや応募資料票が、上記の項目に違反している作品、又は剥がれている場合は失格となる恐れがありますのでご注意ください。

審査員一覧

審査会日程:8月24日(木) @東京

審査委員長	橋爪 紳也 (大阪公立大学研究推進機構特別教授)
審査員	吉岡 勇治 (経済産業省商務・サービスグループ クールジャパン政策課企画官)
	牧江 邦幸 (日本経済新聞社執行役員)
	吹田 良平 (株式会社アーキネティクス代表取締役)
	野老 朝雄 (美術家 Asao TOKOLO)
	湯澤 幸子 (多摩美術大学教授 ASSOCCASTYLE主宰)
	五十嵐 靖晃 (アーティスト 東京2020オリンピック・パラリンピック公認文化オリンピックアードTURNプロジェクトメンバー)
	稲庭 彩和子 (独立行政法人国立美術館主任研究員)
	櫻井 映子 (CM作曲家) (敬称略)

その他

■注意事項

○作品に盗作や写真データの加工・修正などの問題が確認された場合、又は2022年度以前に刊行された当連合会又は関連団体の年鑑掲載作品等の不正応募等は審査終了後でも、賞の取消となります。

○応募者は、同一の作品の重複応募がないよう、事前に関係者間の調整を済ませた上で応募してください。

○作品の著作権、写真使用権、出版権、工業所有権などの管理や手続きは、応募者の責任で事前に行なってください。

○作品写真などの著作権はその著作者に留保されますが、賞作品は当連合会の刊行物・ホームページ・展覧会、シンポジウム、メディア報道などで発表致しますので、写真使用・画像データのCD化権利は当連合会に付与していただきます。許諾を得られない時は、賞の取消となります。又、応募資料票の撮影・図版欄にその著作者名の表示がないものは著作者の氏名表示を不要とみなします。

■掲載発表等・その他

○入賞者、入選者の方々には当連合会より速やかに入賞、入選の旨をご連絡差し上げます。

○入賞者を贈賞式(10月10日(火))@全国町村会館)に全員お呼びして、賞の詳細は贈賞式にて発表します。

○当連合会ホームページ、機関誌等において掲載されます。「年鑑ディスプレイ産業賞(2023)」の収録。

○個人名での応募は一切お受け致しませんので御了承ください。

応募書類締切後、請求書を送付予定。但し、誠に勝手ながら会社毎へまとめた請求とさせていただきますのでご了承ください。支店ごとに請求書ご希望の場合は、事前に事務局迄ご一報下さい。